

3類型	鋳工業品	通巻番号	3-20-005
地域資源名	小田原木製品、箱根寄木細工・木象嵌 小田原漆器	認定日	平成20年6月13日
地域	神奈川県小田原市、箱根町	所管省庁	国土交通省、経済産業省

事業名：小田原箱根で、綺麗になろう。「美と癒しのブランド創造」プロジェクト”Bi”

会社名：合同会社 小田原箱根ブランド創造機構
 所在地：神奈川県小田原市早川2-2-15
 連絡先：TEL:090-9310-6731 FAX:045-253-3171

事業概要(新たな活用の視点)

＜活用する地域資源と現状＞

- 「小田原木製品」の中に含まれる「箱根寄木細工」「小田原漆器」は、この地域独特のものであるが、職人感覚の旧来型の製品センスや、硬直化された土産品販売が主軸の販路体制により、その地域でしか販売されていない地域特有の工芸品に留まっている。しかしその工芸技術の高さは目を見張るものがある。

＜新たな活動視点の導入＞

- 箱根寄木細工は、箱根の豊富な有色天然木材が持つ色彩と木目を生かしながら木材を寄せ合うことで、美しい幾何学模様を表現する。国際的に見ても独特な工芸技法であり、これまでにない付加価値が求められるホームファッション市場や宝飾市場などの新市場に向けた表現技術として極めてユニークで競争力がある。
- さらに、木材だけでなく、琥珀や貴金属などの異素材を組み合わせることで、これまでにない表現が可能になる。また箱根地区は日本有数の温泉地であり全国から多くの観光客が訪れる(2006年1925万人来場)。この観光客とのふれあいのもとに、商品開発と経験プログラムを行い、消費者視点の商品開発を行う。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

[伝統技術＋今様式＝新規性&優位性]

- 伝統工芸士とデザイナーが連携し、伝統工芸技術を活かした、最先端の「ファッションアイテム商品開発事業」を行い、付加価値の高い新市場を狙うことに、新規性があり独自性のある商品開発が可能となる。

伝統工芸士が、地元観光業界と連携し日本有数の観光地に訪れる観光客と触れ合う「経験プログラム事業」を通して、今様式の新規商品開発を行う。

◆市場性

- 本事業は、市場規模は20兆円を超すともいわれているあらたなホームファッション市場の創出拡大に挑戦するものであり、将来的にはJブランドとして海外市場をも視野に入れ事業活動を行う。

◆販路

- 「美と癒し」をテーマに、百貨店や人気セレクトショップを中心に、閉鎖的チャネル政策を行い、顧客の組織化を図るアウトバウンド市場を狙う。
- 地元の観光施設や宿泊施設とタイアップした、経験プログラムを行い、新しい伝統工芸品のよさをアピールする。

地域資源における関係事業者との連携

- 神奈川産業技術センター工芸技術所(木工技術支援)、箱根物産連合会(木工芸事業者組合)、箱根プロモーションフォーラム(ミュージアム・観光・宿泊など関係事業者が、観光資源の可能性を掘り起こし内外にアピールする地域最大の任意団体)など地域の有力な各団体と、面での密接な連携を行うことで、「小田原箱根ブランド」の確立を図り、地域活性化に貢献する。



小田原木製品(寄木細工)



伝統工芸士の作業風景



開発ファッション商品の例